



## ○ はじめまして

この4月1日付で YIC 保育&ビジネス専門学校の校長に着任しました須内（すのうち）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この「KOCHO だより」は前職のときに発行をしていました。前職は公立の小中学校勤務で、学校の教育内容・活動を少しでも保護者・地域の皆様にお知らせしたいという思いから始めました。

このたび着任した本校は同じ教育機関ではありますが、卒業後の就職をにらみ、即戦力となる人材を養成する学校です。今までとは違うやりがいを感じており、わくわくした気持ちです。

この「たより」を発行する目的は前回と同じく、学生の保護者の皆さんに本校の教育活動の状況をお知らせしていくこと、学生本人にも校長の思いや学校及び YIC グループの方針などを伝えていくこと、また、地域の皆様や企業の方々、近い将来の就職先の関係者様などに PR をしていくこと等々です。

目的は広範囲ですが、記述する内容は硬軟取り混ぜた乱文になるかと思えます。よろしければ気軽に読んでいただければ幸いです。

さて、先日5日（水）に光市長市川熙様をはじめ多数のご来賓をお迎えして、本校の入学式を挙行いたしました。今年は19名の入学生です。背筋を伸ばし目を輝かせているその姿（在校生も）は「今年もがんばるぞ。」という気持ちがにじみ出ていました。式辞では次のような内容を伝えました。

～前略～ 完璧に平等なことというのはありません。背の高さや顔つきも皆違います。将来働いて得る給料の額も違うでしょう。外国には紛争などのために学校にいけない子どもたちもいます。比較的平等で平和な社会である日本で生活している私たちはどのように生きていけばよいでしょうか。この答えは無いのではなく、皆さん一人ひとりに違う答えがあるはずで、できれば本校在学中にその答えを見つけましょう。～中略～ 実は誰にとっても平等なことが一つあります。時間の流れる速さです。専門学校で学ぶ二年という期間は実に短いですが、誰にとっても同じ速さで流れていきます。どう使いますか？充実した二年間にしてください。～後略～

限られた時間に自分の思いを伝えるということはなかなか難しいですね。これからはこの「KOCHO だより」を活用して学生の皆さんにもいろいろなメッセージを届けたいと思います。ちょっと長いツイッターのようなものになるかもしれません。

## 自校自賛

謙譲は日本人の美徳かもしれませんが、この欄ではあえて自分で自校をほめてみます。

第1弾 … 上記入学式では、新入生代表として木本陽菜さんが誓いの言葉を、在校生代表として杉林知紗さんが歓迎のことばを立派に述べました。



誓いのことば



歓迎のことば



式後の記念撮影！（軟）